

西洋文化入門 I

科目ナンバリング EUS-101
選択必修 2単位

佐藤 伴近

1. 授業の概要(ねらい)
イギリス劇場文化の史的展開を追う。
2. 授業の到達目標
ケルトの時代から共和政期までのイギリス社会と劇場の関係を理解し説明できる。
3. 成績評価の方法および基準
毎回、小テストあるいは作業を行い、これをリアクションペーパーに記入して提出してもらう(30%)。学期末試験(70%)。
4. 教科書・参考文献
教科書
プリントを配布する。
参考文献
Jane Milling and Peter Thomson ed. The Cambridge History of British Theatre, vol.1 Origins to 1660
Cambridge University Press
5. 準備学修の内容
川成洋 編著『イギリスの歴史を知るための50章』(明石書店、2016年)から、各回に対応する箇所を読んでおく。
6. その他履修上の注意事項
7. 授業内容
【第1回】 イントロダクション
【第2回】 総論:古代ローマ時代からルネサンス期の演劇と劇場
【第3回】 演劇としての聖書—宗教改革期のイングランド
【第4回】 1553年の演劇—継続と変化
【第5回】 専用劇場の発展—1540-1660年
【第6回】 作品視聴
【第7回】 「礼儀と寛容」—貴族の邸宅における演劇公演
【第8回】 ロンドンにおける常設劇場と演劇公演
【第9回】 専門職劇作家—1580-1642年
【第10回】 作品視聴
【第11回】 スチュアート期の宮廷仮面演劇
【第12回】 道化、阿呆者、召使い—演劇革命期の舞台
【第13回】 1642年における劇場の状況
【第14回】 劇場とイギリス共和国
【第15回】 授業内学期末試験